

毎日新聞 19.4.19

オウサマペンギン人工授精

鴨川で世界初成功

鴨川市の水族館「鴨川シーワールド」(勝俣浩館長)はオウサマペンギンの人工授精に世界で初めて成功したと発表した。絶滅が危惧される鳥類にも技術が応用できないか期待



ちするといふ。

【中島章隆】

人工授精で誕生した濃い褐色の羽毛のヒナ(中央)＝鴨川シーワールド提供

される。詳細な内容は共同研究した米フロリダ州の種保存研究所チームとともに論文に発表する。
オウサマペンギンは南極圏に生息し、体長約90センチ、コウテイペンギンに次ぐ大型種。同館によると、昨年7月、飼育する個体が

ら精液を採取し、数羽の雌に人工授精を試みた。9月にふ化したヒナの遺伝子検査から、人工授精により誕生したことが確認された。
現在、ヒナは親と同じ大きさまで成長。夏ごろにはヒナ特有の濃い褐色の羽毛から大人の羽に変わり、独り立